

【出品作品の見所】



柳田龍雪(拓梁齋)《薩州桜島真景図》篤姫(天璋院)所用 江戸時代(19世紀) 徳川記念財団蔵

桜が咲く鹿児島湾から桜島を望む風景を描いた作品。作者の柳田龍雪は、薩摩藩の御用絵師。篤姫が江戸に嫁ぐ折に、養父島津斉彬が故郷の思いでのために持たせたものともいわれる。この作品の模写がNHK大河ドラマ「篤姫」で、篤姫が故郷に思いを馳せるシーンで効果的に用いられていたのは、まだ記憶に新しい。

14代将軍家茂^{いえもち}は、公武合体策の一環として皇女和宮と結婚したことで知られている。開港と攘夷の間で揺れる政治のただ中で苦悩し、長州征伐の途上、大坂城で死去した。作者の川村清雄は、明治4年に徳川家の庇護を得てパリ、ヴェネチアに留学し、日本人として初めて欧米で絵を学んだ。帰国後は勝海舟の援助を受け、徳川家とも深い関わりを持ち続け、歴代将軍の肖像画を描いた。



川村清雄《徳川家茂像》明治17年(1884)頃 油彩、板 徳川記念財団蔵



初代 宮川香山《高浮彫牡丹ニ眠猫覚醒蓋付水指》明治前期(19世紀後半) 陶器 田邊哲人コレクション

宮川香山は、横浜の南太田に窯を持ち、初期には輸出用に立体的な高浮彫を装飾に取り入れた独特の焼き物(真葛焼)を制作した。細部にまで技巧を凝らした造形性や過剰なほどの装飾性は、海外で高い評価を得て「マクス・ウェア」として人気を博した。水指の蓋の上で身体を丸める猫は、日光東照宮の眠り猫が明治維新を迎えて目を覚ましたかのようなだともいわれている。

立派な髭をはやした外国人の男性が袴^{かみしも}を着ている一見して奇妙なこの絵画は、幕末から明治にかけて横浜で盛んに描かれた「横浜絵」のひとつである。絹地に日本画の顔料で描かれているが、西洋画のような陰翳を施され、妙にリアルなところが不気味でもある。親方の芳柳が写真をもとに顔を描き、弟子たちが着物や付属品を描いたといわれ、土産物として来日した外国人にたいへん人気があったと伝えられる。



伝五姓田芳柳《外国人男性和装像(仮題)》制作年不詳 絹本着色、軸 横浜美術館蔵



大・開港展 —徳川将軍家と幕末明治の美術—

DAI-KAI-KŌ: The Art of the Period of Opening the Port of Yokohama from Tokugawa Era to Meiji

会期:2009年9月19日(土)～11月23日(月・祝)

会場:横浜美術館 Yokohama Museum of Art

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1 Tel.045-221-0300 Fax.045-221-0317
<http://www.yaf.or.jp/yma/>

主 催

横浜美術館(横浜市芸術文化振興財団・相鉄エージェンシー・三菱地所ビルマネジメント 共同事業体)／
 財団法人 徳川記念財団／毎日新聞社

特別協賛

財団法人 横浜開港150周年協会

後 援

横浜市／NHK横浜放送局

協 力

みなとみらい線／横浜ケーブルビジョン／横浜市ケーブルテレビ協議会／FMヨコハマ／首都高速道路株式会社

観覧料

一般1,000(900)円 大・高校生700(600)円 中学生400(300)円

※()内は20名以上の団体料金、ならびに前売りチケット

※小学生以下の児童、障害者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料

※毎週土曜日は高校生以下は無料(生徒手帳・学生証をご提示ください)

※敬老の日(9月21日)は65歳以上の方は無料(年齢を証明するものをご提示ください)

※開館記念日(11月3日)は観覧料20%割引。一般800円、大・高校生560円、中学生320円

20周年を迎える今年は、特別イベントを多数ご用意しています。詳しくはお問合せください。

※リピーター割引:観覧済みの企画展有料チケットをご提示いただくと、団体料金でご覧いただけます。(観覧日から1年間、1名様1回限り有効)

記者会見および内覧会

2009年9月18日(金)

13:00～18:00 内覧会

14:00～14:30 記者会見

15:00～15:30 開会式

関連事業

●記念講演会

1 「浮世絵師が伝える横浜開港の文化と音楽」(トークと演奏)

講師:齋藤 龍 氏(横浜文化史研究、横浜市芸術文化振興財団顧問)

西川浩平氏(邦楽研究、日本音楽集団横笛奏者)、他

日時:9月27日(日)14:00～15:00

会場:横浜美術館レクチャーホール(定員240名、希望者多数の場合は抽選)

主催:横浜美術館、横浜美術館協力会

※聴講無料 往復ハガキで申込み(住所、氏名、イベント名を明記)、申込締切:9月16日(水)必着

お問合せ・お申込み:

横浜美術館協力会 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1 Tel.045-221-3863 次ページにつづく



2 「歴史の中の横浜開港」

講師：徳川恒孝氏(徳川記念財団理事長)

日時：11月7日(土)14:00～15:30

会場：横浜美術館レクチャーホール(定員 240名、先着順)

※聴講無料

●市民のアトリエ ワークショップ 芝山細工の妙技「お話と実演」

講師：宮崎輝生氏(芝山師、横浜マイスター)

*宮崎氏は、現在横浜に二人だけ残る芝山師のうちの一人です。

日時：10月25日(日)14:00～16:00

定員：30名(希望者のうち抽選で5名が小品を制作)

参加費：2,000円 ※展覧会チケット付

お問合せ・お申込み：市民のアトリエ Tel. 045-221-0366 ※申込締切=10月13日(火)

●ギャラリートーク(担当学芸員による作品解説)

日時：9月25日/10月9日/10月23日/11月6日/11月20日 いずれも金曜日の15:00～15:30

※当日有効の展覧会チケットが必要です。

周辺商業施設との連携(予定)

●横浜ロイヤルパークホテル

○68階 日本料理「四季亭」にて「大・開港展」開催期間中、特別記念ランチを販売予定。

○宿泊プラン 「大・開港展」の鑑賞と宿泊がセットになった宿泊プランを会期中販売。

お問合せ：横浜ロイヤルパークホテル 広報担当 釜元晴美 Tel.045-224-5050(直通)221-1111(代表)
http://www.yrph.com

●ランドマークプラザ

○ランドマークプラザ×草月流洗華会 いけばなインスタレーション2009
「大・開港展をいける」

出品作品からインスピレーションを得た大型のいけばなを展開します。

会場：ランドマークプラザ1F/ガーデンスクエア/フェスティバルスクエア

日時：9月22日(火・祝)～27日(日)11:00～20:00

横浜美術館でも特別展示 会場：グランドギャラリー

9月18日(金)～9月30日(水)

お問合せ：045-222-5015(ランドマークプラザ:11:00～20:00)



●とらや 横浜ランドマークプラザ店

○開港150周年記念 特製羊羹「海」の販売

横浜美術館ミュージアムショップと同店にて限定販売。



◎ お問合せ

横浜美術館 広報担当(庄司、大岩、佐藤)

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1

Tel. 045-221-0319 Fax. 045-221-0317

e-mail: pr-yma@yaf.or.jp